

初版制定 2015年4月27日

1 適用範囲

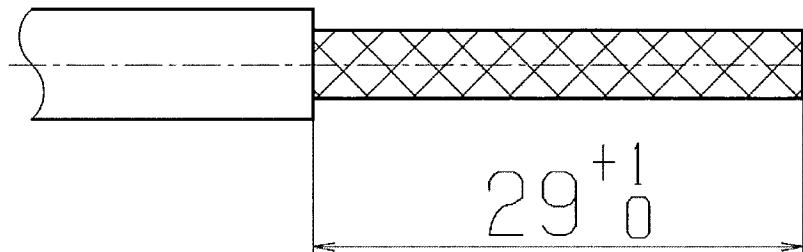
本要領書はNHVC-16コネクタの結線作業方法について推奨する。

2 必要工具

- ・スパナ、モンキーレンチ
- ・ニッパ、ナイフ、はさみ
- ・スケール（30ミリ以上計れる物）
- ・電工ナイフ又はシース剥き、ワイヤーストリッパー等
- ・圧着工具（JIS工具） JISC9711 準拠品

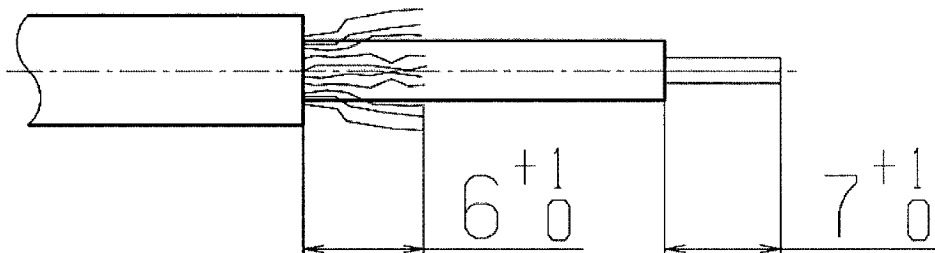
3 ケーブル端末処理（プラグ、アダプタ側）

下記寸法にてケーブルシースをナイフ等任意の方法にて剥く。



編組をときほぐし、下記寸法にて切断する。

ケーブル絶縁体を下記寸法にて剥ぎ取る。



（注）ケーブル導体や絶縁体、編組に傷をつけないこと。

NANABOSHI PDF DATA

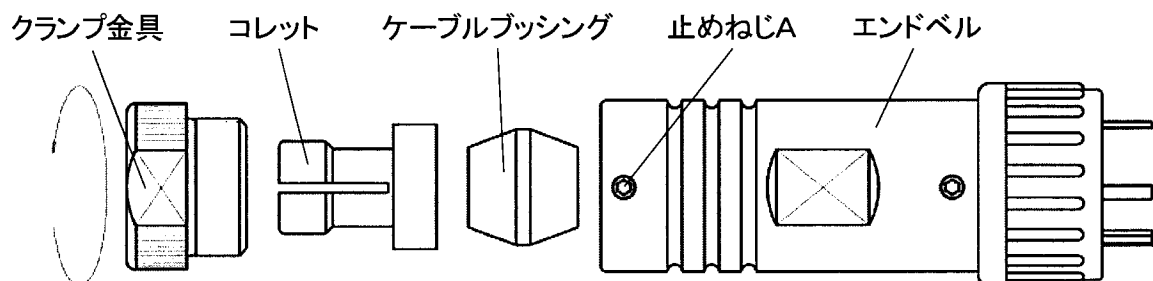
御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

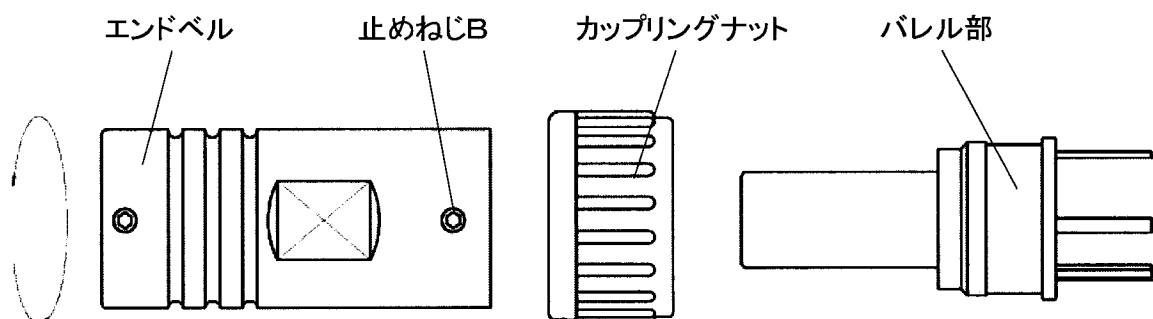
変更 記事							承認	査閲	起草
							エエエ	岡崎	市川
	記号	日付	内容	承認	査閲	作成	2014.8.19	14.6.5	13.11.13

4 プラグの分解

エンドベル側面の止めねじAを緩め、クランプ金具を回転させエンドベルより取り外し、コレットとケーブルブッシングを取り出す。



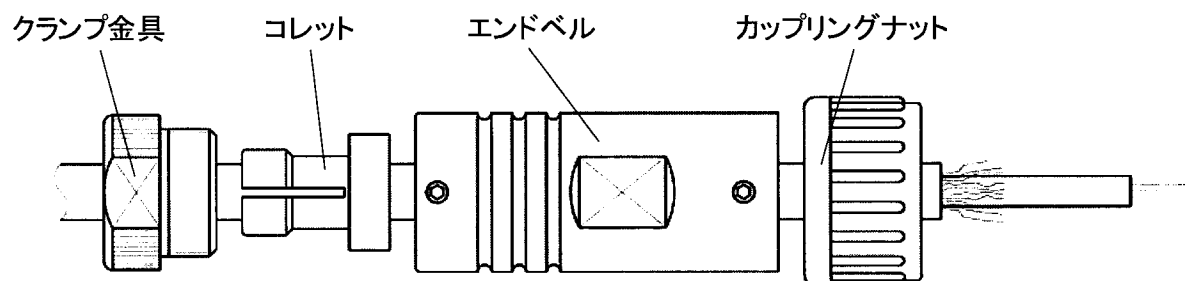
エンドベル側面の止めねじBを緩め、エンドベルを回転させバレル部より取り外す。



(注) 分解後、ケーブルブッシングやその他部品に大きな傷や割れが無いことを確認すること。
部品の紛失や落下、破損に注意すること。

5 プラグ予備装着

下図の向きにてケーブルに予備装着を行う。



(注) 各部品の向きを間違えないようにすること。

NANABOSHI PDF DATA

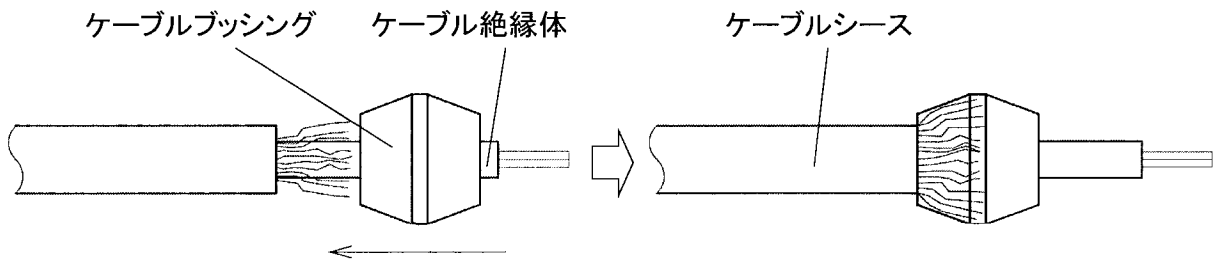
御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

6 結線作業

6-1 ケーブルブッシングの取り付け

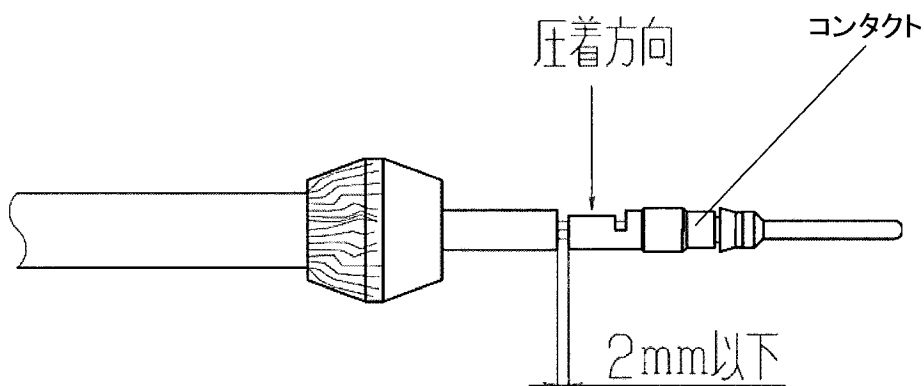
ケーブル絶縁体にケーブルブッシングを通し、編組を巻き込まないように注意しながらケーブルシース部まで押し上げる。



(注) ケーブル絶縁体とケーブルブッシングの間に編組を挟み込まないように注意すること。

6-2 コンタクトの圧着

ケーブル導体をコンタクトに挿入し、圧着工具を用いて圧着する。



※図はオスコンタクトですが、メスコンタクトの場合も同様です。

(注) 穴から芯線が1本も出ていないこと。

芯線の先端が端子部の切り込みを超えていること。

JIS C 9711に規定されている工具を用いて確実に圧着すること。

圧着工具の1.25mm²のダイス位置にて圧着すること。

圧着後、コンタクトとシースの隙間は2mm以下のこと。

NANABOSHI PDF DATA

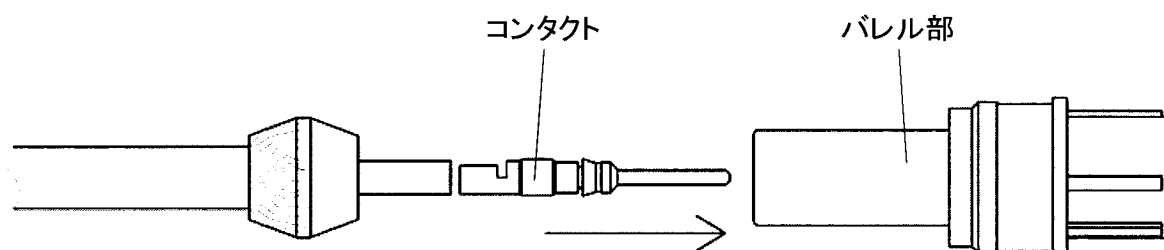
御参考用

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

7 プラグの組立

7-1 コンタクトの取り付け

バレル部の絶縁体にコンタクトを挿入する。



※図はオスコンタクトですが、メスコンタクトの場合も同様です。

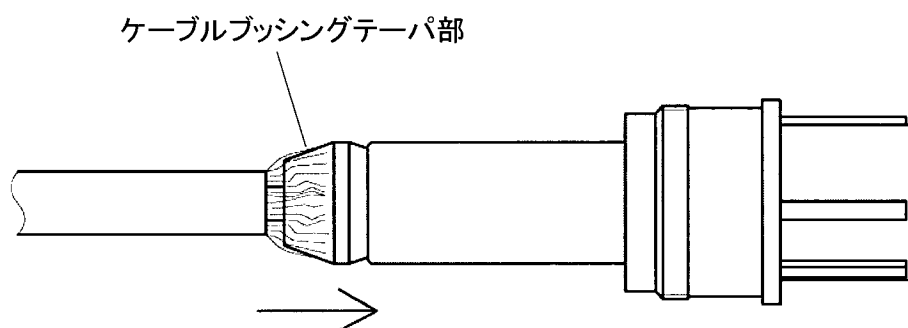
(注) コンタクトが確実に挿入されると“パチッ”と音をする。

取付け後、軽く引っ張り、抜けないか確認すること。

コンタクトはまっすぐに挿入すること。

挿入時に正しいコンタクトに結線しているか確認すること。

ケーブルブッシングを絶縁体まで下ろし、編組をケーブルブッシングのテーパ部になでつける。



(注) ケーブルブッシングのテーパ部からはみ出している編組は切りそろえること。

絶縁体内部に埃や編組の切りくずなどがある場合、確実に除去してからケーブルブッシングを下ろすこと。

絶縁体内部に異物が残っている場合、十分な電気性能が得られない危険性があります。

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

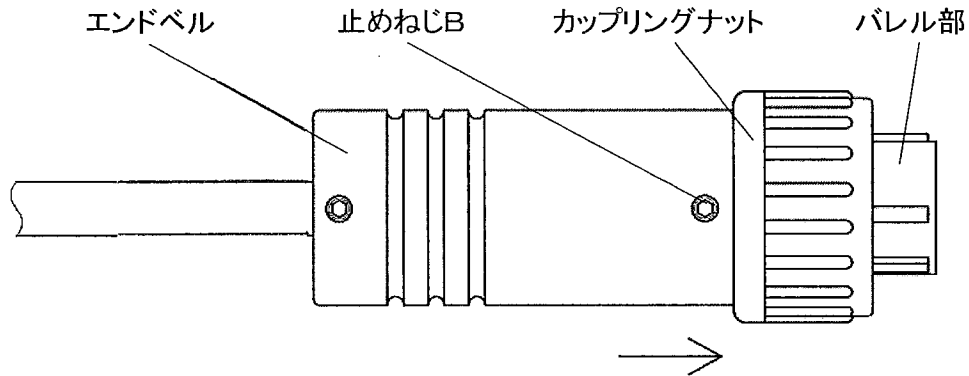
7-2 プラグシエルの組立

カップリングナットを下ろし、バレル部を固定しエンドベルを締め付ける。
その後、止めねじBを締め付ける。

推奨締め付けトルク

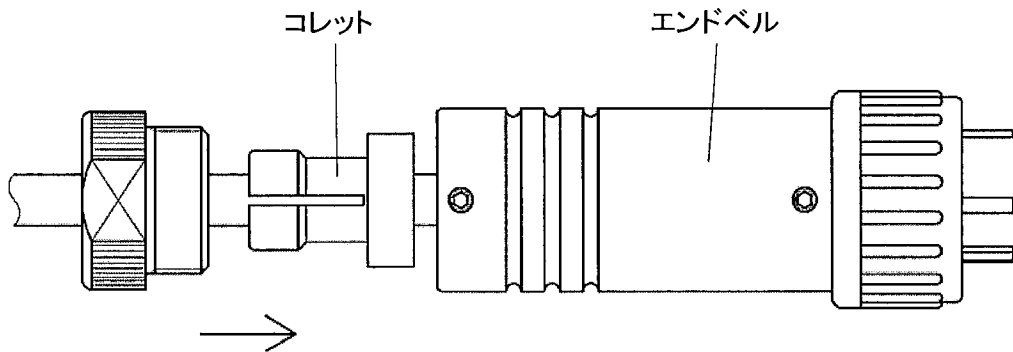
エンドベル-バレル部間・・・1.5～2.0 [N・m]

止めねじB・・・0.2～0.25 [N・m]



(注) バレル部を回転させて締め付けないこと。

コレットを下ろし、エンドベルに押し込む。



NANABOSHI PDF DATA

御参考用

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

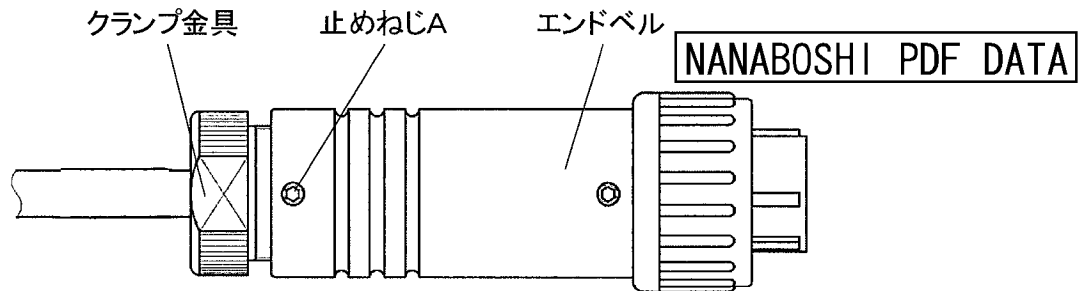
エンドベルを固定し、クランプ金具を締め付ける。
その後、止めねじAを締め付ける。

ご注意：
記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

推奨締め付けトルク

エンドベルークランプ金具間・・・1.5～2.0 [N・m]

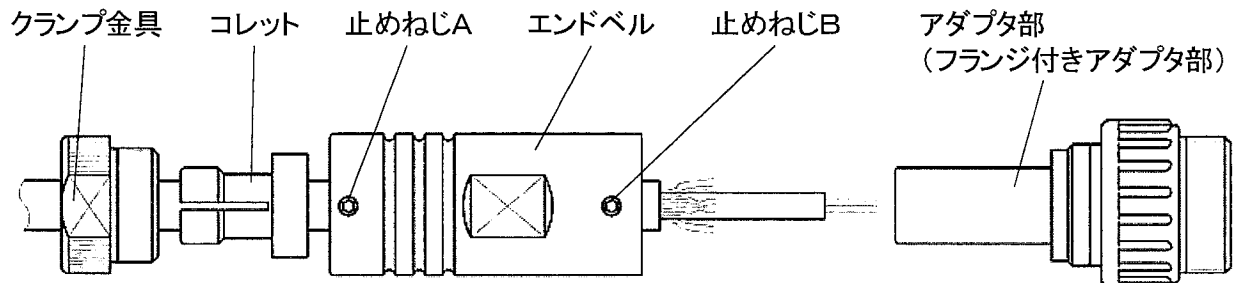
止めねじA・・・0.2～0.25 [N・m]



御 参 考 用

8 アダプタ、フランジ付きアダプタの結線作業

手順3の端末処理を施し、下図を参考に分解、予備装着を行う。



手順6-1, 6-2, 7-1と同様に結線作業を行い、組立を行う。

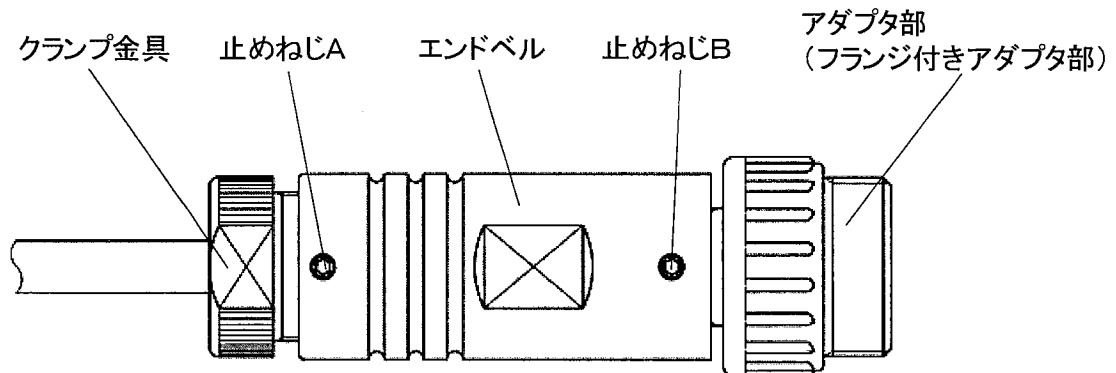
推奨締め付けトルク

エンドベルーアダプタ部間・・・1.5～2.0 [N・m]

(フランジ付きアダプタ部)

エンドベルークランプ金具間・・・1.5～2.0 [N・m]

止めねじA, B・・・0.2～0.25 [N・m]

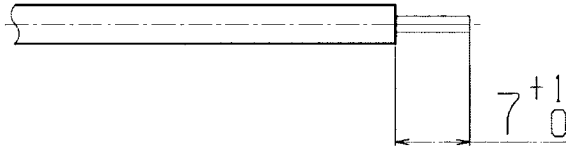


9 レセプタクルの結線作業

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

9-1 ケーブル端末処理

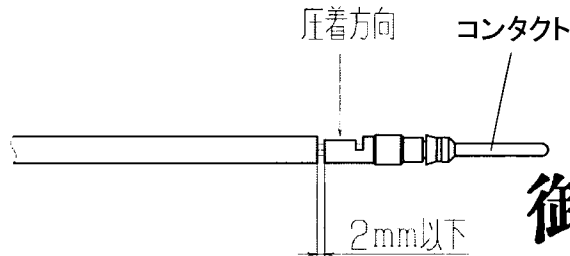
下記寸法にてケーブルの端末処理を行う。



9-2 コンタクトの圧着

手順6-2と同様にコンタクトの圧着を行う。

NANABOSHI PDF DATA



御 参 考 用

※図はオスコンタクトですが、メスコンタクトの場合も同様です。

(注) 穴から芯線が1本も出ていないこと。

芯線の先端が端子部の切り込みを超えていること。

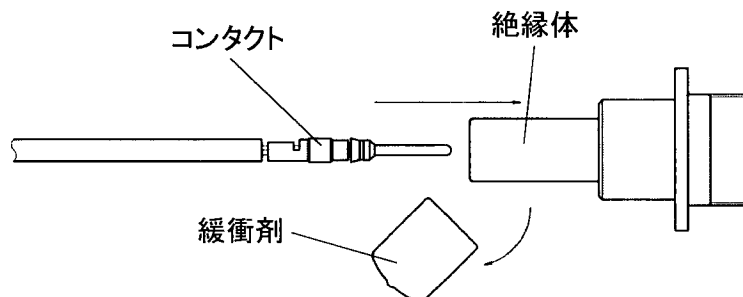
JIS C 9711に規定されている工具を用いて確実に
圧着すること。

圧着工具の1.25mm²のダイス位置にて圧着すること。

圧着後、コンタクトとシースの隙間は2mm以下のこと。

9-3 コンタクトの取り付け

黒色の絶縁体緩衝剤を外し、コンタクトを挿入する。



(注) コンタクトが確実に挿入されると“パチッ”と音がる。

取付け後、軽く引っ張り、抜けないか確認すること。

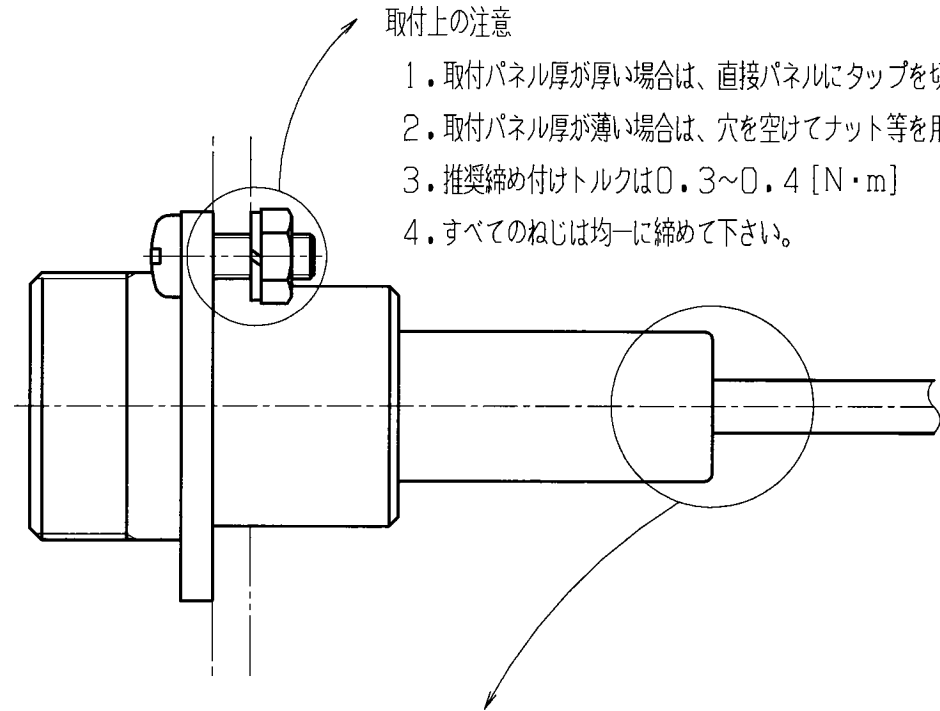
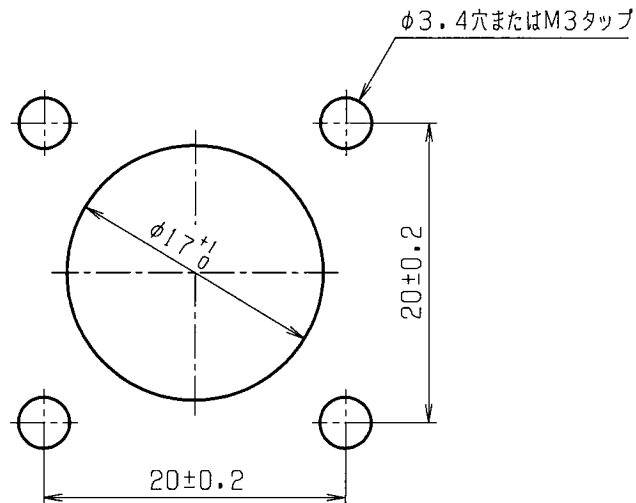
コンタクトはまっすぐに挿入すること。

挿入時に正しいコンタクトに結線しているか確認すること。

部品の紛失や落下、破損に注意すること。

レセプタクル取付注意事項（NHVC-16シリーズ）

取付パネル穴あけ寸法



取付上の注意

1. 取付パネル厚が厚い場合は、直接パネルにタップを切って下さい。
2. 取付パネル厚が薄い場合は、穴を開けてナット等を用いて下さい。
3. 推奨締め付けトルクは $0.3 \sim 0.4$ [N・m]
4. すべてのねじは均一に締めて下さい。

5. コネクタ絶縁体内部に埃等が残らないようにして下さい。
6. 絶縁体に負荷がかからないよう他部品との接触はさけ、十分な空間距離を取って下さい。

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。